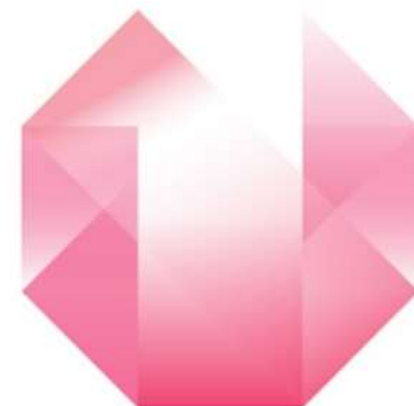


MA-Tシステムが内閣総理大臣賞を受賞

<概要>

- ✓ オープンイノベーション大賞は、日本のオープンイノベーションをさらに推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組を表彰するもの。
- ✓ 内閣府が取りまとめを行い、内閣総理大臣賞をはじめ、各大臣賞、長官賞、主催者団体会長賞を表彰する、オープンイノベーション分野では規模と荣誉が極めて大きい表彰。



JAPAN OPEN
INNOVATION PRIZE
日本オープンイノベーション大賞

内閣総理大臣賞

日本発革新的酸化制御技術MA-T Systemによるオープンイノベーション
～感染症対策や医薬、高分子表面の機能化、エネルギー生産などの広範な社会実装～

川端 克宜(一般社団法人日本MA-T工業会 代表理事)、金田 安史(大阪大学 統括理事・副学長オープンイノベーション機構長)、安達 宏昭((株)dotAqua 代表取締役社長)、桜井 克明(アース製薬(株) MA-Tビジネスセンター長)、高森 清人((株)エースネット 代表取締役社長)

概要

ベンチャー企業の発明が大学での原理解明により革新的な酸化制御技術「MA-T System®」へ昇華。領域を超えた研究開発と産学連携の基礎が構築されるとともに、オープンイノベーションプラットフォームとして日本 MA-T 工業会を設立し、広範囲での社会実装を推進。

目的

産官学連携によって、MA-T® の更なる発展と新たな事業価値の創造を目指す。MA-T® は感染対策ではもちろん、エネルギー対策・パウチの剥離技術への応用によるリサイクルの研究・農業分野など SDGs への取組に繋がっている。

内容

創業相談を機に化学・高分子化学方面でイノベーションが起こり、食品衛生、農業、林業、新素材、エネルギーなど広範囲をカバーする日本MA-T工業会やMA-T学会を立ち上げ。大学発ベンチャー(株)dotAqua)設立で次代の創業を担う若手研究者育成の好循環システムを構築。

効果

MA-T® 応用展開として、感染制御、医療・ライフサイエンス、食品衛生、農業・林業、エネルギー、表面酸化(マテリアル)の6つの分野を中心に開発を推進し、社会実装を進めている。日本MA-T工業会への加盟企業104社、賛助会員13団体。MA-T® に関連する大学発ベンチャーが2社起業(dotAqua、HOIST)。



広範な社会実装が期待できる酸化制御技術 MA-T System® によるオープンイノベーション。先駆的、且つ基礎的で、今後の応用分野が非常に広い。工業会設立で産学官連携のエコシステムを確立するとともに、学会設立によりアカデミアからの貢献も期待でき、更なる発展が望まれる。

内閣総理大臣賞 = 最高賞

